

令和5年度小松市立安宅中学校 学校評価2

	目標・具体的取り組み	取組の状況（中間・8月提出）	取組の成果と課題（年度末・3月提出）
生徒指導	<p>〈安心・安全な学校・学級を築き、生徒の主体性を育む。〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒理解部会を毎週開催して情報交換し、生徒に前向きな声掛けや仕掛けをタイムリーに行う。 当たり前の行動をしっかりと見取り、褒める認める言葉をかける。 他者を傷つける行為や言動には、毅然とした対応をする。 学校行事・生徒会活動を活性化させ、生徒主体となって活動できる場を増やし、自己有用感の向上を図る。 生徒アンケートを行い、「学校が楽しい」という問いに対し「楽しい」と答える生徒が90%を超えるようにする。 		
特別支援教育	<p>〈適切な支援に向けて工夫を行う〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 個別の配慮や支援を必要とする生徒への支援を実際に行いながら、より適切な支援に向けて個に応じた支援計画・指導計画を作成し、全教職員で共有する。（ファイルの統一） 小学校と連携を密にし生徒理解や支援のスムーズな引継ぎを行う。（3～5月、その他必要に応じて） 特別支援教育支援員による支援計画を作成し、計画に即して支援ができるようにする。 生徒の理解や支援について、教育支援委員会を開き、よりよい支援に繋げる。 必要に応じて、関係機関との連携や専門相談員の派遣要請を行い、その際に行った相談やいただいた助言を支援に活かす。 		
道徳教育	<p>〈道徳教育の向上を図り、多面的・多角的な価値観を涵養する。〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 教材分析や発問、言語活動の工夫等、「考え・語り合う道徳」の活性化に向けた授業改善を行う。 普段の学校生活の中で、良い姿をほめたりするなど、意識的な声掛けを行うことで生徒の道徳性を養う。 道徳ノートや授業の様子など生徒の学びを蓄積し、評価に活用することで、生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を把握する。 道徳の時間によりよい生き方を考える生徒が85%以上になることを目指す。 		
情報モラル教育	<p>〈情報モラル教育を推進し、情報手段を適切に活用できる能力を育成する〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒会を中心として、本校の現状を踏まえた情報モラルの意識向上に向けた取組（安中ネチケットの再考や呼びかけ・啓発など）を行う。 技術・家庭科の授業などにおいて、継続的に情報モラルについて考える機会を設け、意識を高める。 生徒アンケートを基に評価し、SNSとの向き合い方やネットトラブルに対する意識についての項目において、意識している生徒が90%以上になることを目指す。 		
保健健康教育	<p>〈心身の健康〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 自らの健康・安全・食に関心を持ち、快活な学校生活を送ることができる。 生活習慣についてのアンケートを実施し、生活習慣の現状を把握する。 自分の生活習慣の課題を理解している生徒が80%以上になることを目指す。 		
家庭・地域との連携	<p>〈情報発信を行い、家庭教育の充実を図る〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ホームページの更新、コドモの発信、各種たよりの発行を積極的に行っていると感じている保護者を90%以上にする。 学校の様子がよくわかると感じている保護者を90%以上にする。 学校と家庭、地域が連携し、三位一体で教育を行うことを目指し、学校と家庭、地域が連携して子どもを育てていると感じる保護者を90%以上にする。 		
読書教育	<p>〈読書に親しみ、豊かな心を育む〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 10分間の朝読書やブックラリーの時間を心静かに過ごせる環境をつくる。 図書委員会活動では、生徒の企画を大切にしながら、委員会活動を活性化させる。 月に一度、図書委員が校内放送を用いて、全校生徒に向けてお勧めの本を朗読することで、読書活動を積極的に推進する。（ブックラリー） 学級文庫を充実させることで、生徒が様々なジャンルの本を読む機会を増やす。 		

学校関係者評価	
---------	--